

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(小木曽建設株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1 雇用・労働	2 教育・学習	3 エネルギー・資源	4 食料・農業	5 健康・福祉	6 産業・製造	7 気候変動	8 水・陸域保全	9 生物多様性	10 平和・社会的不平等	11 不平等・貧困	12 産業・创新	13 水資源	14 食料・農業	15 生物多様性	16 気候変動	17 陸域保全	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、升進、福利厚生などの制度に差別がない体制を構築し、経営トップも雇用管理や安全衛生推進者の研修を受け積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明示している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニーの認証を取得済み					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・父親も育児に参加出来るよう、毎週水曜日を「ノーワークデー」としている。								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・相談窓口を設置している。取引先についてはグリーンファイルなどで外国人労働者を確認し対応するようにしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・社員向け労働安全衛生講習会の開催や社内インフラネット等でも周知している。 ・2011年には全国建設業労働災害防止大会で安全衛生表彰を受賞。令和5年ISO5001を取得済み			3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している。 ・万が一メンタルヘルス問題が発生した場合の社外相談体制も構築している。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が社内で活躍できる制度を設けている。資格取得のバックアップと費用を会社で負担している。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・ISO活動の中で毎年教育訓練計画を策定し職務や役割に応じた研修体制を整備し実施している。 ・資格取得のバックアップと費用を会社で負担している。			4	5.5			8	9										
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・職場いきいきアドバンスカンパニーの認証を取得済み				5.5			8.5		10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・協会けんぽに加入し社員の健康に関する周知を徹底している。 ・インフルエンザワクチン接種費用を会社で負担している。			3					8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の種類、量などを把握のうえ台帳整備をし、削減計画を立案と実践をし、毎年県に報告をしている。											11.6	12		14.1				
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・事業所でのエネルギー使用によるCO2排出量を集計し把握している。							7.3					13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・経営者を中途した排出量抑制のためのプロセスの見直しの実施。令和4年よりカーボンニュートラル材料を採用済み。					7.2 7.3					12.4	13.3							
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			業務で使用されている材料の有害化学物質を把握し、削減の計画を策定している。 ・有害物ばく露作業報告をしている。			3.9		6.3					11.6	12.4							

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供して生物多様性に配慮している。 ・作業現場においても野生生物に配慮した対応を実施。								6.6							15				
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・木材や廃アスコンの再利用した工法を開発・施工販売。 ・H14、15リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰受賞。 ・H20には同表彰にて国土交通大臣賞受賞。												13	14.1						
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・自社の井戸の水利用状況を把握し、使用量削減等の工夫をしている。					6.4	6.6													
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・ISO14001の認証取得・更新している。			3.9		6	7						12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・ISO14001の認証取得範囲をホームページ及び社内に明示。 ・長野県多量排出事業者における産業廃棄物処理計画の作成と報告をしている。												12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・2011年から本社工場屋根にてソーラー発電に取り組んでいる。					7.2							13							
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・各事業所でアスコン・砕石・コンクリート2次製品などリサイクル材を使用した材料の優先使用をしている。											12.2	13	14	15					
	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・情報漏洩や贈収賄などを禁止するコンプライアンスに関する社内教育を実施し、社内の啓蒙を図っている。															16	16.5			
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為の禁止などコンプライアンスに関する社内教育を実施し、社内の啓蒙を図っている。																16			
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・特許・知的財産権の取得・管理をしている。					8.2	8.3	9												
公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報に関する基本方針を定めて体制を整備している。 ・会社ホームページの問合せフォーム欄に方針を明記し周知を図っている。																16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・自社製品の原材料に関する調査やトレーサビリティーを実施し確認している。																	16		
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認を行っている。			5		8		10		12	13	14	15	16	17					
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		令和9年6月までに「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する。			3				8	9	10								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
・建設業界全体の施工レベルアップへ貢献する。		自社の得意分野の施工方法や新しい舗装技術の公開や問い合わせへの対応をする。			3.9						9		12.4						
・地域の身体障碍者の積極的な採用。		身体障碍者の雇用の場を確保するために、法定雇用人数以上の雇用をし、適切な部署へ配置する。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
・蛍光灯からLEDランプへの切り替えの推進。		社内の照明のための蛍光灯をLEDに切り替えを進める。											12		14				

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定